「原発新安全基準案」の問題点

井野博満

新安全基準院内集会報告

20130123

「新安全基準」は
電力業界と市民との対決の場

- 「可能な安全対策はすべておこなう」というのが規制委員会の基本姿勢ではないのか？
- それ抜きに原発再稼働は許されないことの確認を迫る
- 電力業界（電事連）は、対策を値切ろうと迫っている

  対策内容の値切り

  対策時期の値切り

原発の設計基準こそ問題

- 「設計基準」を変えずに、「シビアアクシデント対策」を小手先で付け加えるのはおかしい
- 福島事故の教訓⇒事故を起こしたBWR、とくに、マークⅠ型格納容器は不適格なのではないか？

特定安全施設

- シビアアクシデント対策は、可搬施設でお茶を濁すのでなく、設計基準に依拠した恒久施設の設置が不可欠
- 「更なる信頼性向上のための施設」＝「すぐには設置しなくてよい施設」というごまかしを許さない
- 地震・津波対策なのか、航空機墜落・テロ対策なのか、中途半端（対処法が異なるため）

（参考）特定安全施設の種類

- 炉内の溶融炉心の冷却機能：原子炉内への注水
- 格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却機能：格納容器下部への注水
- 格納容器の冷却・減圧・放射性物質除去機能：格納容器スプレイ
- 格納容器の除熱・減圧・放射性物質除去機能：フィルター付きベント
- サポート機能：電源、第二制御室

外部電源強化の重要性

- 「独立な2系統の外部電源確保」という規制委員会検討チームの案を、電事連は値切ろうとしている
- 電事連「独立に2系統作るのは困難」、「現状で十分頑強だ」⇒地震で壊れた鉄塔はない！？
- 福島事故は、地震で外部電源を失ったことが発端
- 東通原発でも余震で外部電源がやられ、ディーゼル発電機で冷却。外部電源復旧直後にディーゼルが故障。辛うじてセーフ
- 外部電源をクラス１機器に格上げせよ

大飯原発再稼働の再現を許すな

- あの時の政府の再稼働の条件
- ストレステストで「福島原発を襲った地震・津波」が来ても安全が確保されている・・・可搬設備（電源車・給水車など）で対応
- 30項目の安全対策が実施ないし計画されている・・・免震重要棟、フィルタベントなどは後で整備すれば良いとされた
- このままの新基準案では、それが再現される！